

# ケーワンシステム

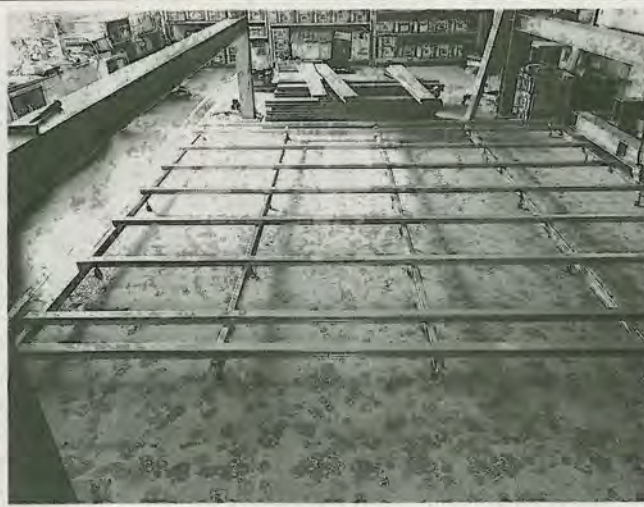
## 屋上体育館にも提案

### 鋼製床下地のK-1デッキ 文教タイプ開発

ケーワンシステム(本社・札幌)は、鋼製床下地のK-1デッキで認定こども園や保育園での使用を想定した「文教P1ayタイプ」を開発した。体育館に求められる床の適度な硬さと柔らかさを取り入れた製品。敷地の限られる都市部の施設などでの使用を想定。転倒時の衝撃を緩和し、子どもたちを青空の下で伸び伸び遊ばすことができる。

### こども園などで使用を

大引と根太で構成する製鋼(本社・東京)のZメインフレームは、さびは方協(同)のスラブロ



ックシステムを採用。デッキ材は弾力性に優れる厚さ30ミリの中空タイプ人工木を使う。

このうち万協のスラブロックシステムは、耐震性や遮音性に優れる支持脚。頭部から接着剤を注入するだけでボルト回転止めとスラブを同時に固定でき、防水層を傷付けるなどの心配がない。

文教P1ayタイプは、屋内体育館に求められる硬さと緩衝効果を網羅するのが最大の特長。転倒衝撃時の硬さや弾力性値、鉛直載荷、衝撃試験など体育館JIS

適度な硬さと柔らかさを取り入れたK-1デッキ文教P1ayタイプ

A-6519に求められる試験を万協の性能試験場で行い基準を満たした。

23日に万協と実用新案を共同出願した。今後は幼稚園や保育園、認定こども園での利用を想定する。リハビリ施設や老健施設、病院などの採用も見込む。

設計単価は仕上げ床高135-300ミリが2万円、301-450ミリは2万4000円(いずれも税抜き)。

原田慶一社長は「敷地の限られる首都圏では建物の屋上に体育空間を設

けるケースもある。道内でも敷地活用策の一つ「ば」と話している。